

【日本経済調査資料シリーズ5】

明解企業史研究資料集

第3回配本 繊維産業編 全3巻

編集・解題／佐々木 淳（龍谷大学教授）



企業資料コレクション「長尾文庫」(龍谷大学深草図書館所蔵)からのセレクション第3弾！
 戦前期日本の在来産業の代表・織物業の地域別製造業者・問屋などを網羅する希少資料と、従来の研究ではあまり顧みられなかった旧外地における農村織物の現地調査報告書を復刻。繊維産業史研究の第一級資料!!

クロスカルチャー出版

明解企業史研究資料集

第3回配本 繊維産業編 全3巻

●編集・解題 佐々木 淳（龍谷大学教授） ●定価 本体 130,000 円 + 税

●体裁 B5判・上製 約 2,500 頁 ISBN978-4-908823-23-7 C3333

◆巻構成および底本

第8巻 『日本織物総覧』(帝国商工通信社編刊 1928) I

(序・凡例・日本染織誌・東京・京都・大阪・神奈川・千葉・茨城・栃木・群馬・埼玉・山梨・福島・宮城・岩手・秋田・青森・山形)

第9巻 『日本織物総覧』(帝国商工通信社編刊 1928) II

(新潟・富山・石川・福井・長野・静岡・愛知・岐阜・三重・和歌山・奈良・滋賀・兵庫・岡山・広島・山口・鳥取・島根・徳島・香川・高知・愛媛・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄・北海道・朝鮮・台湾・樺太・関東州)

第10巻

『京都織物問屋総覧』(東京信用交換所京都支局編刊 1933)

『東京織物問屋総覧』(東京信用交換所編刊 1929)

『満洲に於ける綿洋服及び服地(調査第十七輯)』(満洲輸入組合聯合会商業研究部編刊 1938)

『平壤のメリヤス工業と平南の農村機業(調査資料第二十一輯)』(八木朝久編 平壤商工会議所刊 1943)

第1回配本 一旧外地企業編 全4巻

●編集・解題 佐々木 淳（龍谷大学教授）

●定価 (本体 150,000 円 + 税)

●体裁 B5判・上製 約 3,300 頁

◆巻構成および底本 ISBN978-4-905388-48-7 C3333

第1巻 台湾

『台湾製糖株式会社史』(伊藤重郎編 1939)

『社業現況』(台湾電力株式会社企画部編 1938)

『事業概観』(台湾拓殖株式会社 1940)

『台湾に於ける金融機関』(台湾銀行 1939)

第2巻 朝鮮

『朝鮮殖産銀行二十年志』(本田秀夫編 1938)

『朝鮮金融組合の現勢』(朝鮮金融組合連合会 1937)

第3巻 満洲国

『昭和製鋼所廿年誌』(昭和製鋼所 1940)

『日滿倉庫株式会社十年略史』(日滿倉庫株式会社 1940)

第4巻 満洲国・中国関内・南洋群島

『特殊会社並二準特殊会社調』(満洲興業銀行 1941)

『中国連合準備銀行五年史』(中国連合準備銀行顧問室 1944)

『中支那振興会社並関係会社事業概況』(中支那振興株式会社 1940)

『南洋拓殖工業株式会社一設立趣意書並二事業ト企業地ノ説明』(1917頃)

第2回配本 総合商社鈴木商店関係会社編 全3巻

●編集・解題 佐々木 淳（龍谷大学教授）

●定価 (本体 130,000 円 + 税)

●体裁 B5判・上製 約 2,700 頁

◆巻構成および底本 ISBN978-4-905388-94-4 C3333

第5巻

『株式会社神戸製鋼所創立79周年記念講演 鈴木商店と金子直吉の人間像』(1984)

『金子直吉遺芳集』(柳田義一編 1972)

『脩竹余韻 故西川文蔵君追懐録』(森 衆郎編 1921)

第6巻

『精製樟脳史』(吉岡荒造編 1938)

『再製樟脳縁起』(岡田太郎太編 1940)

『大正十四年二月 再製樟脳株式会社要覧』(1925)

『大正十三年十二月 再製樟脳株式会社研究報告 第一回』(1924)

『大正十五年七月 再製樟脳株式会社研究報告 第二回』(1926)

第7巻

『豊年製油株式会社二十年史』(1944)

『創業三十周年記念帖』(天満織物株式会社 1917)

『創立十五周年記念 人絹工業概観図』(帝国人造絹糸 1933)

『明日への跳躍【創業90周年】』(日本セメント 1973)

『30年のあゆみ：想い出 1955～1985』(同上 1985)

『昭和七年一月一日現行 国際汽船株式会社社則』(1932)

〈おすすめ先〉日本経営史・経済史・産業史・金融史・日本近代史／大学・公共図書館など

クロスカルチャー出版

学術出版

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-7-6-201

TEL : 03-5577-6707 FAX : 03-5577-6708

e-mail : crocul99@sound.ocn.ne.jp

取扱書店

推薦します

この復刻によって、戦前期における外地企業の活動の研究が一層進展し、本文庫の有効活用がなされることを期待するものである。(第一回配本時の推薦文より抜粋)

龍谷大学図書館が「長尾文庫」を所蔵するに至った経緯について簡単に紹介しておく。長尾氏は、三十有余年にわたって収集してきた社史をはじめとする企業関係史料の有効活用を痛感されて、研究機関への譲渡を決定されるに至り、一九八三年に龍谷大学が譲りうけたものである。本文庫の所蔵点数は、現在約一八、〇〇〇点弱、そのうち社史は七、〇〇〇点弱を有している。本文庫の特徴は、社史をはじめとする企業関係史料としては、日本最大級の規模を誇っていること、幕末から今日に至るまで日本(外地企業を除く)で発行された社史の約七〇%を産業界別にむらなく所蔵し、そのうち龍谷が独自に所蔵する社史が二百数十点に及んでいること、社史に限らず第一次史料や貴重な企業活動関係資料を多数含んでいることなどである。

(中略)今回復刻される外地企業の社史をはじめとする企業関係史料は、いずれも外地企業の企業活動を知る上で非常に貴重なものであり、本文庫にのみ所蔵されている極めて貴重な史料も含まれている。

本文・表はすべて『日本織物総覧』(第8・9巻)

「長尾文庫」と外地(植民地)企業史料の復刻について

龍谷大学教授 藤田誠久

長尾文庫は、龍谷大学図書館が所蔵する社史、企業関係史(資料)、産業史、団体史、企業家史などのコレクションのことで、元の所蔵家であった長尾隆次氏の名前にちなんで命名されたものである。

龍谷大学図書館が「長尾文庫」を所蔵するに至った経緯について簡単に紹介しておく。長尾氏は、三十有余年にわたって収集してきた社史をはじめとする企業関係史料の有効活用を痛感されて、研究機関への譲渡を決定されるに至り、一九八三年に龍谷大学が譲りうけたものである。

本文庫の所蔵点数は、現在約一八、〇〇〇点弱、そのうち社史は七、〇〇〇点弱を有している。本文庫の特徴は、社史をはじめとする企業関係史料としては、日本最大級の規模を誇っていること、幕末から今日に至るまで日本(外地企業を除く)で発行された社史の約七〇%を産業界別にむらなく所蔵し、そのうち龍谷が独自に所蔵する社史が二百数十点に及んでいること、社史に限らず第一次史料や貴重な企業活動関係資料を多数含んでいることなどである。

(中略)今回復刻される外地企業の社史をはじめとする企業関係史料は、いずれも外地企業の企業活動を知る上で非常に貴重なものであり、本文庫にのみ所蔵されている極めて貴重な史料も含まれている。

この復刻によって、戦前期における外地企業の活動の研究が一層進展し、本文庫の有効活用がなされることを期待するものである。(第一回配本時の推薦文より抜粋)

内容見本

刊行にあたって

龍谷大学教授 佐々木 淳

本企画は、好評を博しました「明解企業史研究資料集―旧外地企業編(全4巻)」の第3回配本(全3巻)、「繊維産業編」として刊行いたします。

戦前期の日本では、江戸時代以来の伝統的な生活様式にもとづく根強い需要に支えられて、織物業や醸造業に代表される在来産業が地域的な特色を持ちながら展開していたことは、よく知られています。「繊維産業編」とする本企画では、この在来産業の中から織物業を取り上げ、地域ごとの製造業者や問屋などを網羅した昭和初期の希少な名鑑3点に加え、従来の繊維産業史ではあまり顧みられることなかった戦前期の旧外地における綿洋服地の需給状況(満洲)やメリヤスその他の農村織物業の実態(朝鮮)に関する現地調査報告2点を蒐集して復刻するものです。

巻編成は、織物関連業者を府県・旧外地(朝鮮・台湾・樺太・関東州)ごとに網羅した大部な名鑑『日本織物総覧』(1928年)を2つの巻に分けて収録し(第8巻と第9巻)、二大織物集散地(京都・東京)の織物問屋を沿革も含めて網羅した名鑑2点と旧外地(満洲・朝鮮)の現地調査報告2点をあわせて第10巻としました。

今回の配本で復刻の対象とした5点の資料のうち第10巻に収めた3点(京都織物問屋総覧『東京織物問屋総覧』『平壤のメリヤス工業と平南の農村機業』)は、これまでの配本時と同様に「長尾文庫(龍谷大学深草図書館所蔵)」から蒐集したものです。「長尾文庫」は日本有数の社史コレクションとして知られていますが、会社史以外にも日本経営史・経済史研究で資料的価値の高い歴史資料が豊富におさめられています。今回も、この長尾文庫の特徴を生かし、繊維産業史の研究に有用な企業資料の集積を目指したものと なっています。

日本染織誌

第一章 総論

(一) 序説

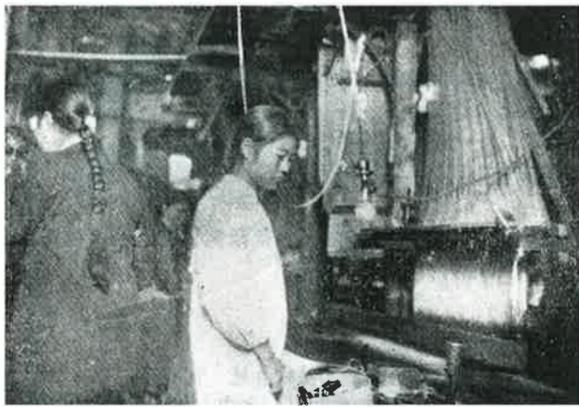
人類の文化史上、わが染織工業は極めて重要な一部門をなすものにして、その歴史は古く、その文化は豊かである。わが染織工業は、人類文化の発展と共に、その歴史もまた豊かにある。世界に於ける染織の歴史を知ることは、わが染織工業の歴史を知ることに通ずる。わが染織工業の歴史を知ることは、わが文化の歴史を知ることに通ずる。わが染織工業の歴史を知ることは、わが文化の歴史を知ることに通ずる。

◎主要織物生産地索引表(いりま)

織物種類	生産地
絹織物	京都府、奈良県、和歌山県、徳島県、高知県、香川県、岡山県、広島県、山口県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
綿織物	岐阜県、愛知県、静岡県、長野県、山梨県、東京都、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、富山県、石川県、福井県、滋賀県、岐阜県、愛知県、静岡県、長野県、山梨県、東京都、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、富山県、石川県、福井県、滋賀県
麻織物	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、岐阜県、長野県、山梨県、東京都、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、富山県、石川県、福井県、滋賀県
毛織物	山形県、秋田県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、岐阜県、長野県、山梨県、東京都、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、富山県、石川県、福井県、滋賀県

特色

- 1 戦前期の織物業に関する希少な名鑑や旧外地調査報告(満洲・朝鮮)を完全復刻。
- 2 織物関連業者を府県・旧外地(朝鮮・台湾・樺太・関東州)ごとに網羅した巨鑑『日本織物総覧』をI(第8巻・第9巻)に分けて収録。
- 3 京都・大阪の織物問屋の沿革が分かる問屋名鑑に注目。
- 4 戦前期の旧外地における綿洋服地の需給状況(満洲)やメリヤスその他の農村織物業の実態(朝鮮)が判明。
- 5 大学図書館や公共図書館ではほとんど見ることができない希少な資料を蒐集。



上下の写真は手織機使用の紗織製織作業状況(安州邑)



写真は『平壤のメリヤス工業と平南の農村機業』(第10巻)

